

令和8年度ツキノワグマ被害防止連絡会議

時間：令和8年6月19日（金）午後1時～1時15分

場所：第3応接室（本庁舎3階）、オンライン

出席：知事、農林水産部、危機管理部、県警察本部

[リモート参加] 市町村、森林組合、鳥取県猟友会
生活環境部、子ども家庭部、輝く鳥取創造本部
教育委員会、総合事務所、環境省地方機関

1

県内のツキノワグマ出没状況

最近の主な出没

日にち	場所	区分
6月18日	大山町大山	目撃
6月18日	鳥取市福部町湯山	目撃
6月17日	三朝町福本	目撃
6月13日	岩美町蕪島	目撃
6月12日	日南町下阿毘縁	目撃
6月10日	三朝町山田	痕跡（糞）
6月10日	智頭町早瀬	目撃
6月9日	大山町大山	目撃
6月6日	八頭町下野	目撃
5月29日	八頭町姫路	痕跡（糞）
5月31日	琴浦町山川	痕跡（足跡）
5月31日	琴浦町野井倉	目撃
5月20日	日南町矢戸	目撃



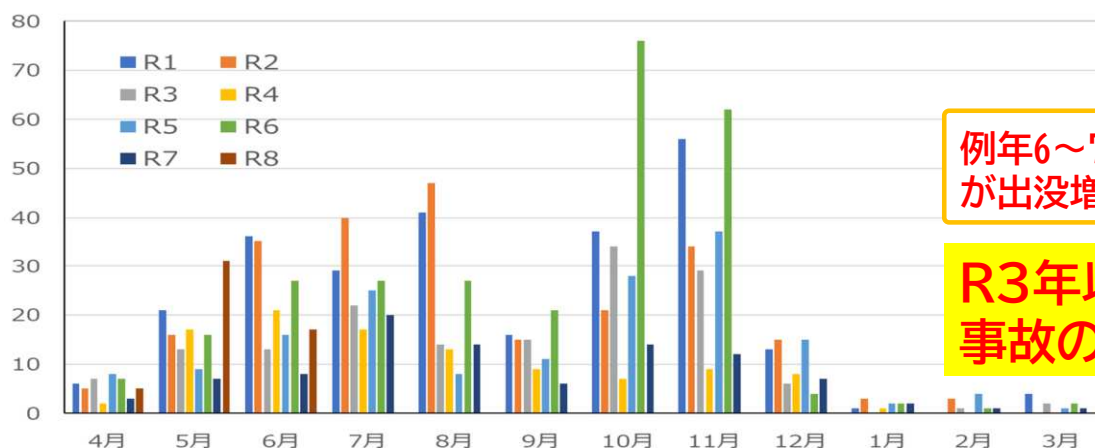
⇒クマ分布拡大地域
(中部・西部)で、
出没情報が増加

2

県内のツキノワグマ出没状況等

(R8.6.18時点)

年度	(件数)												地域別			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	東部	中部	西部
H28	3	14	31	52	36	27	215	107	10	0	0	0	495	462	10	23
H29	9	24	41	29	29	10	8	2	4	1	0	1	158	113	22	23
H30	4	42	42	46	19	14	15	26	8	0	1	0	217	161	11	45
R1	6	21	36	29	41	16	37	56	13	1	0	4	260	212	18	30
R2	5	16	35	40	47	15	21	34	15	3	3	0	234	196	16	22
R3	7	13	13	22	14	15	34	29	6	0	1	2	156	122	8	26
R4	2	17	21	17	13	9	7	9	8	1	0	0	104	85	11	8
R5	8	9	16	25	8	11	28	37	15	2	4	1	164	144	7	13
R6	7	16	27	27	27	21	76	62	4	2	1	2	272	230	11	31
R7	3	7	8	20	14	6	14	12	7	2	1	1	95	57	7	31
R8	5	31	17										53	19	14	20
東部	3	10	6										19			
中部		7	7										14			
西部	2	14	4										20			



クマ分布拡大地域で、
出没情報が増加

例年6~7月、10~11月
が出没増

R3年以降、県内では
事故の発生なし

3

島根県での人身被害の概要

日時：6月17日（水）
午後2時50分ごろ

場所：島根県邑南町鱒淵地区

負傷者：男性

状況：

- ・複数人で山に入り、別々に造林地で作業中、クマに遭遇。
- ・クマに足を噛まれ、手も負傷。
- ・意識はあり、命には別状なし。



鳥取県の対応

- ・6月17日（水）に全市町村及び森林組合や事業体等林業関係87団体に注意喚起

4

近年のツキノワグマ出没状況（中国地方）

（令和8年5月末時点）

（件数）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R8	186	566											752
うち鳥取	5	31											36
R7	71	266	255	314	204	138	325	363	171	46	18	30	2,201
うち鳥取	3	7	8	20	14	6	14	12	7	2	1	1	95
R6	111	443	627	420	531	491	862	578	120	17	19	15	4,234
うち鳥取	7	16	27	27	27	21	76	62	4	2	1	2	272
R5	91	282	300	301	153	181	668	569	142	29	30	24	2,770
うち鳥取	8	9	16	25	8	11	28	37	15	2	4	1	164

○中国地方のR8年4月～5月の出没件数は、出没が多かったR6年度と比較して多く、本県も同様の傾向を示している。

〔 中国地方：直近3か年の平均出没数に対し約1.8倍
 本県： // 約1.6倍 〕

5

中国地方知事会での確認事項

令和8年5月25日の中国地方知事会で各県が相互に連携し、出没・被害防止対策を強化していくことを確認。

1 地域個体群の広域連携体制による保護管理の強化

- 保護管理ユニット毎の協議会が情報を共有しながら、対策を連携して実施

2 被害防止に向けた総合対策

<体制整備>

- 専門人材の配置：鳥獣対策職員（鳥取(R8～)・島根）、特定鳥獣専門指導員（岡山）、クマレンジャー（広島・山口）
- 組織体制の強化：クマ対策室の設置（鳥取(R8～)）

<出没防止対策>

- パトロール、追い払い、現地指導、普及啓発等の強化
- 放任果樹の伐採、緩衝帯の整備、侵入防止柵（電気柵）の整備などの環境整備の推進
- センサーカメラによる出没ルート推定、堅果類豊凶調査、捕獲個体の解析調査などの実施

<出没時対策>

- 緊急銃猟、錯誤捕獲対応捕獲者向けの銃猟技術研修の開催や狩猟免許取得支援など銃猟実施者の育成・確保

3 情報共有

- 中国5県で市町村別の捕獲・目撃情報及び各県での取組内容の共有（H29～）と、市町村への情報発信を継続中
- 東中国地域（兵庫、鳥取、岡山）並びに西中国山地個体群（島根、広島、山口）の生息推定個体数の算定及び広域連携による個体群管理の実施
- 緊急銃猟や追い払いなどの被害防止対策に向けた研修会への相互参加

6

クマ被害対策等に関する関係省庁連絡会議（中国四国ブロック）

＜会議の目的＞

クマの出没が国民の安全・安心を脅かす深刻な事態となっており、関係省庁が緊密に連携し、情報共有、意見交換等を行関係省庁が緊密に連携し、情報共有、意見交換等を行う。

- 1 開催日 令和8年6月16日（火）
- 2 場所 岡山市
- 3 参加者
（農林水産省）中国四国農政局
（林野庁）近畿中国森林管理局、四国森林管理局
（国土交通省）中国地方整備局、四国地方整備局
中国運輸局、四国運輸局
（環境省）中国四国地方環境事務所
- 4 主な内容
（1）政府全体での取組について
（2）関係省庁からの報告

7

これから夏にかけてのクマの行動

6月：繁殖期に入り、（若い）個体の行動域が拡大

昨年2月に生まれた子グマは親離れの時期
繁殖期でもあり、若い個体を中心に、行動域が拡大
繁殖期のオスが、若いオスを外に追い出す！

⇒ **普段クマの目撃が少ない地域でも、遭遇に注意！**
（鳥取市福部町、三朝町、琴浦町、大山町など）



一番餌のない季節に突入 → 低標高地で採餌

- ・ 前年からのドングリは減少、餌としての利用は終了
- ・ 草は育ち過ぎて硬く消化できず、餌として不適に
- ・ 木イチゴ等の液果を求めて、陽当たりの良い農耕地近く、農道、林道近くへ
- ・ 一年のなかで、低標高地で行動する季節（毎年）

⇒ **クマの行動が活発な朝方、夕方はクマ除けスズやラジオ等を使ってクマに人の存在を知らせましょう**

8

県の対応

1 緊急銃猟実施者育成研修開催

- ・内 容：緊急銃猟の安全で的確な実施に向け緊急銃猟の実施に必要となる知識の習得及び机上演習実施
- ・開催地：6月16日(火)中部地区、20名参加
17日(水)西部地区、31名参加
18日(木)東部地区、64名参加
- ・参加者：市町村職員、警察、捕獲者等
- ・市町村が地域関係者を取りまとめ、実際に対応するメンバーで演習を実施



緊急銃猟机上演習(6/16中部地区)

2 県民・関係者等への注意喚起

- ・とりネットのトップページにクマ出没情報へのリンクを掲載(アクセス多数)
- ・島根県での人身事故を受け、全市町村、県森連、各森林組合、造林公社、林業事業者(計87団体)に注意喚起

9

県の対応(今後の予定)

1 クマ対策の高度化

R8年6月補正

- ・通信機能付きAI利用センサーカメラの導入によるクマ接近の早期把握
- ・サーマルスコープ導入で集落に周辺に侵入したクマの探索能力の向上
- ・GPS首輪によるクマの詳細な行動解析
- ・遺伝子分析の導入によるクマ被害の実態把握・対策の科学的効果検証

2 緊急銃猟実地訓練の開催(令和8年8月)

- ・緊急銃猟の的確な実施に向け、机上訓練及び現地での訓練を実施
参加者:県・市町村職員、警察、捕獲者等

3 SNSでの発信強化(SNS中の人プロジェクト)

- ・TikTokでクマ対策動画の公開を準備中

4 各種クマ対策勉強会

- ・クマ対策研修会
NOSAI、警察職員、測量関連企業、地籍調査職員ほか
 - ・自然環境イベント、大学等授業での講師
鳥取環境大学Sustainability Weekのイベントへの参加
鳥取環境大学授業への講師参加(今年から)
- 研修会のご依頼、多数ありがとうございます。絶賛受け付け継続中です。

5 放任果樹伐採の推進

- ・秋の出没に備えて、今から放任果樹伐採を強力的に推進



通信機能付き
AI利用
センサーカメラ



クマ対策室
しろくま室長
西 信介

10

市町村へのお願い（1）

- 連絡体制や緊急時に必要な対応の再点検・確認をお願いします。

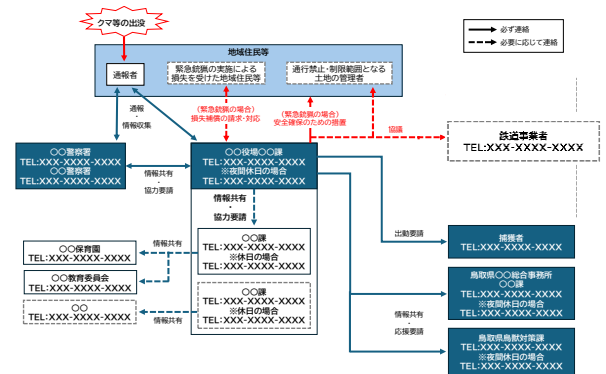
<緊急時連絡先>

鳥獣対策課（24時間対応）

0857-26-7656

090-6832-2231

（夜間休日 0857-26-7111）



- クマの出没に強い地域づくりを進めるため、積極的にクマ対策室をご活用ください。

- 痕跡判別（糞、足跡、爪痕等）
- 集落等への現地指導や学習会の開催
- 技術指導、伴走支援 等



クマの糞

11

市町村へのお願い（2）

クマは繁殖期に入り、オスや若い個体は、行動範囲を広げ、加えて農耕地・農道・林道周辺の木イチゴ等を求めて低標高地で活動する季節になります。

- 地域の周辺住民、自治会、観光客、学校等関係者等に対し、クマの出没や事故防止に関する注意喚起、情報提供をお願いします。
- クマの目撃情報が寄せられた場合は、鳥獣対策課・各総合事務所、警察と情報共有し、人身事故発生を防止するため迅速な対応をお願いします。
 - 現地確認、パトロール巡回等の実施
 - 出没情報のあった場所の周辺での防災無線や看板設置等による注意喚起
 - 状況に応じて有害捕獲の実施

12

捕獲従事者へのお願い

シカ、イノシシを捕獲する捕獲従事者は、捕獲作業中にクマに遭遇しないよう、**安全に配慮して捕獲作業を実施**してください。

(1) わなの設置

- やぶの中など、見通しが悪い場所や登山道など人通りのある場所付近へのわな設置は避ける。
- 周辺でクマの痕跡が確認された時は、わなの作動を停止する。
- くくりわなの根付は生木とし、直径は20cm以上のものとする。
- 携帯電話の電波受信状況を確認する。

(2) わなの見回り

- 見回りは原則毎日行い、捕獲個体がクマを誘引しないように速やかに処理する。
- クマが来ている可能性も想定して見回り時は慎重に近づく（車内から確認など）。
- クマ撃退スプレー等を携行する。複数人で見回りをする。
- クマを錯誤捕獲した際は速やかに市町村に連絡する。

13

県民の皆様へのメッセージ（1）

夏の行楽シーズンを迎え、登山やキャンプ等で山野へ立ち入る機会が多くなります。鳥取県の豊かな自然の下でクマが生息しています。クマによる人身事故を防止するためには、**クマと遭遇しないことが最も重要**です。

夏は繁殖期による行動圏の拡大、餌探索による低標高地への行動圏拡大に注意してください

- **初夏（6月頃）は繁殖期に入り、異性を求めて活動範囲が広がります。**
- 雑食動物のクマは、夏が一番餌不足で餌を求めて低標高地へ活動範囲を広げます。
- 昨年のドングリ豊作で、複数の子を連れた母グマが多くいます。**母グマは子グマを守ろうと攻撃的行動をとることが知られています。子グマの近くには母グマがいる可能性があり、子グマでも近づかず、速やかにその場から離れてください。**

14

県民の皆様へのメッセージ（２）

クマを目撃したり、痕跡（足跡等）を発見したら、最寄りの市役所・役場か警察にお知らせください。

- 山では、
 - ① クマ除け鈴、笛、ラジオなどで大きな音を出しながら行動する（クマに人の接近を知らせて遭遇回避）
 - ・早朝、夕方での草刈り作業、水田の水管理作業 等
 - ② 夕方から早朝にかけては複数人で行動する。（散歩、ランニング等）
 - ③ 携帯電話の電波受信状況を確認する。
- 生ゴミ、廃棄野菜・果実、食料品、ペットフード等の誘引物を屋外に放置しない。（田畑、キャンプ時を含む）
- 梨等の果樹園には電気柵を適切に設置する。
- クマと出会った場合は、慌てず背を向けずにゆっくり後退して、その場を去る。
- 庭先や農地周辺の、柿などの不要な木は今のうちに伐採する。